

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様								必須
16								
16	1						診療情報管理システム	
16	1	1					診療情報管理機能	
16	1	1	1				システムの起動と利用権	
16	1	1	1				システムは職種により利用できるメニューが制限できること。	○
16	1	2					基本機能	
16	1	2	1				患者基本情報、入退院情報、病名情報、手術情報、治療・処置情報、画像・生理情報、病理情報、感染症情報、分娩情報が登録できること。	○
16	1	2	2				退院日、診療科、主治医等から対象患者を簡単に検索できること。	○
16	1	2	3				管理項目、選択リストは必要に応じて追加、変更できること。	○
16	1	2	4				未記入、記入済み、確定済みのステータスで管理できること。	○
16	1	2	5				職種により、登録権限を制限できること。	○
16	1	2	6				職種により、利用できるメニューが制限できること。	○
16	1	2	7				病歴情報へのアクセス履歴（保存、登録等）の管理できること。	○
16	1	2	8				患者の診療情報を患者基本情報（1患者ひとつ）、入院情報（入院単位）、各科情報（1患者院内の診療科単位）の3レベルでの管理ができる	○
16	1	2	9				医療情報システムまたは医事会計システムに接続し、患者基本情報や入退院情報の取得ができること。	○
16	1	2	10				職員マスタは医療情報システムと同期をとって自動的に更新できること。	○
16	1	2	11				ユーザごとに画面の配置を変更できること。またその配置を保存できること。	○
16	1	2	12				付箋機能を有すること。	○
16	1	2	13				付箋機能では色を任意に指定できること。	○
16	1	2	14				マウス操作により、付箋の表示・非表示を選択できること。	○
16	1	2	15				画面を閉じることなく同一患者の過去データを参照できること。	○
16	1	2	16				自分が実施すべきタスクを管理する機能があること。	○
16	1	2	17				全ての修正履歴が残ること。また修正部分がわかるように履歴の比較をできること。	○
16	1	3					一覧機能	
16	1	3	1				病歴登録一覧、入院患者一覧の専用画面を有すること。	○
16	1	3	2				病歴登録一覧画面では、下記を検索条件に指定して対象患者の検索ができること。 ・患者番号 ・診療科 ・病棟 ・入院日 ・退院日 ・医師 ・医師区分（主治医、担当医） ・更新者 ・保存進捗	○

## 別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
16	1	3	3			入院患者一覧画面では下記を検索条件に指定して対象患者の検索を行えること。 ・患者番号 ・診療科 ・病棟 ・入院日 ・退院日 ・医師 ・医師区分（主治医、担当医） ・更新者	○
16	1	3	4			病歴登録一覧、入院患者一覧画面にて指定した検索条件は利用者単位で保存できること。	○
16	1	3	5			各一覧画面において、利用者単位で並べ替えの設定が保存できること。	○
16	1	3	6			一覧表示されたデータをExcel形式で出力、保存ができること。 また出力時に印字させる情報は任意に指定ができること。	○
16	1	4				患者基本情報登録機能	
16	1	4	1			患者ID、患者氏名、性別、住所、生年月日、血液型は医療情報システムまたは医事会計システムの登録内容を元に自動作成できること。	○
16	1	5				入退院情報登録機能	
16	1	5	1			入退院歴として入院日、退院日、診療科、主治医、病棟を管理すること。 これらは医療情報システムまたは医事会計システムの登録内容を元に自動作成できること。	○
16	1	5	2			入退院歴が作成できること。	○
16	1	5	3			入退院歴は1入院単位、または転科単位での管理ができること。	○
16	1	5	4			紹介元、紹介先医療機関の登録ができること。 また医療機関はマスタからの選択を行えることができ、文字検索、分類検索、科セット頻用医療機関にて絞り込みができること。 文字検索では前方一致、部分一致、後方一致での検索ができること。	○
16	1	6				病名情報登録機能	
16	1	6	1			ICD-10により管理できること。	○
16	1	6	2			医療情報システムに登録されている病名情報（病名、ICDコード）の取り込みができること。	○
16	1	6	3			病名マスタからの選択ができること。選択に際しては、文字検索、ICDコード検索、分類検索、科セット頻用病名からの選択ができること。 文字検索、ICDコード検索では前方一致、部分一致、後方一致での検索ができること。	○
16	1	6	4			病名マスタはMEDISの最新病名マスタをダウンロードして容易に取込できること。	○
16	1	6	5			各診断名に主疾患、合併症等の区分を付与できること。	○
16	1	6	6			各診断名に転帰の付与できること。	○
16	1	6	7			病名コードの修正ができること。修正可能者は職種等での限定できること。	○
16	1	6	8			当該患者に過去付けられた病名から選択して登録できること。	○
16	1	6	9			二重分類用の病名コードの登録ができること。	○
16	1	6	10			病名に対する登録日（診断日）の登録ができること。	○
16	1	6	11			病名に対するコメントの登録ができること。	○
16	1	7				手術情報登録機能	
16	1	7	1			医療情報システムに登録されている手術情報の取り込みができること。	○
16	1	7	2			手術コードはICD 9 CM、Kコードで管理できること。	○
16	1	7	3			手術コードの修正ができること。修正可能者は職種等で限定できること。	○
16	1	7	4			手術に関する備考の登録ができること。	○

## 別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
16	1	7	5			各手術に主手術、従手術等の区分を付与できること。	○
16	1	7	6			手術マスタからの選択ができること。選択に際しては、文字検索、コード検索、分類検索、科セットからの選択ができること。 文字検索、コード検索では前方一致、部分一致、後方一致での検索ができること。	○
16	1	7	7			手術マスタはMEDISの最新手術マスタをダウンロードして容易に取込できること。	○
16	1	8				治療・処置情報登録機能	
16	1	8	1			ICD 9 CMコードでの管理ができること。	○
16	1	8	2			コードの修正ができること。修正可能者は職種等で限定できること。	○
16	1	8	3			マスタからの選択を行えること。選択に際しては、文字検索、コード検索、分類検索、科セットからの選択ができること。 文字検索、コード検索では前方一致、部分一致、後方一致での検索ができること。	○
16	1	8	4			処置マスタはMEDISの最新処置マスタをダウンロードして容易に取込できること。	○
16	1	8	5			治療・処置に関する備考の登録ができること。	○
16	1	8	6			医療情報システムに登録されている、処置に関する情報（実施日、処置名等）の取り込みができること。	○
16	1	9				画像・生理情報登録機能	
16	1	9	1			ICD 9 CMコードでの管理ができること。	○
16	1	9	2			コードの修正ができること。修正可能者は職種等で限定できること。	○
16	1	9	3			マスタからの選択ができること。選択に際しては、文字検索、コード検索、分類検索、科セットからの選択ができること。 文字検索、コード検索では前方一致、部分一致、後方一致での検索ができること。	○
16	1	9	4			医療情報システムに登録されている、画像・生理に関する情報（実施日、検査名等）の取り込みができること。	○
16	1	10				分娩情報登録機能	
16	1	10	1			母親の情報登録ができること。	○
16	1	10	2			新生児の情報登録ができること。	○
16	1	10	3			新生児と母親の関連付けができること。	○
16	1	11				病理診断情報登録機能	
16	1	11	1			病理診断名の管理ができること。	○
16	1	12				その他登録情報	
16	1	12	1			ユーザ側で自由に運用できる管理項目を有していること。本項目は項目名称をユーザ側で任意に修正することができ、フリー入力、マスタ選択、チェックボックスの形式で登録ができること。	○
16	1	13				情報検索機能	
16	1	13	1			登録画面内のすべての管理項目を検索条件に指定して検索できること。	○
16	1	13	2			検索条件単位で論理式（ANDまたはOR）を指定できること。	○
16	1	13	3			検索条件に（ ）を指定し、論理式の優先順位を設定できること。	○
16	1	13	4			登録画面内の管理項目の範囲で検索結果の出力項目を自由に追加、削除することができ、また並び替えできること。	○
16	1	13	5			検索結果は患者単位、入院単位、病歴単位への集約ができること。	○
16	1	13	6			検索結果は、Microsoft社のExcelで加工できる形式またはCSV形式でファイル出力できること。	○
16	1	13	7			検索条件、もしくは検索項目は雛型として保存できること。	○
16	1	13	8			検索結果より該当データを選択して病歴編集画面を起動できること。	○
16	1	13	9			検索機能を使用した内容（いつ、だれが、どのような検索を、等）を保存・参照できること。	○

## 別紙1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
16	1	14				統計機能	
16	1	14	1			下記の統計帳票（入院統計表：入院単位）を出力できること。	○
16	1	14	2			診療科別・月別・性別 退院患者数	○
16	1	14	3			診療科別・年齢階層別・性別 退院患者数	○
16	1	14	4			診療科別・在院期間別・性別 退院患者数	○
16	1	14	5			病床種別・在院期間別・性別 退院患者数	○
16	1	14	6			疾病（大分類）別・診療科別・性別 退院患者数	○
16	1	14	7			疾病（大分類）別・年齢階層別・性別 退院患者数	○
16	1	14	8			疾病（大分類）別・在院期間別・性別 退院患者数	○
16	1	14	9			疾病（大分類）別・転帰別・性別 退院患者数	○
16	1	14	10			疾病（大分類）別・年齢階層別 死亡患者数	○
16	1	14	11			疾病（大分類）別・年齢階層別 剖検患者数	○
16	1	14	12			疾病（中分類）別・診療科別・性別 退院患者数	○
16	1	14	13			疾病（中分類）別・年齢階層別・性別 退院患者数	○
16	1	14	14			疾病（中分類）別・在院期間別・性別 退院患者数	○
16	1	14	15			疾病（中分類）別・転帰別・性別 退院患者数	○
16	1	14	16			疾病（中分類）別・年齢階層別 死亡患者数	○
16	1	14	17			疾病（中分類）別・年齢階層別 剖検患者数	○
16	1	14	18			診療圏・診療科別・性別 退院患者数	○
16	1	14	19			診療圏・年齢階層別・性別 退院患者数	○
16	1	14	20			診療圏・在院期間別・性別 退院患者数	○
16	1	14	21			診療圏・転帰別・性別 退院患者数	○
16	1	14	22			下記の統計帳票（入院統計表：転科単位）を出力できること。	○
16	1	14	23			診療科別・月別・性別 在科患者数	○
16	1	14	24			診療科別・年齢階層別・性別 在科患者数	○
16	1	14	25			診療科別・在院期間別・性別 在科患者数	○
16	1	14	26			病床種別・在院期間別・性別 在科患者数	○
16	1	14	27			疾病（大分類）別・診療科別・性別 在科患者数	○
16	1	14	28			疾病（大分類）別・年齢階層別・性別 在科患者数	○
16	1	14	29			疾病（大分類）別・在院期間別・性別 在科患者数	○
16	1	14	30			疾病（大分類）別・転帰別・性別 在科患者数	○
16	1	14	31			疾病（大分類）別・年齢階層別 死亡患者数	○
16	1	14	32			疾病（大分類）別・年齢階層別 剖検患者数	○
16	1	14	33			疾病（中分類）別・診療科別・性別 在科患者数	○
16	1	14	34			疾病（中分類）別・年齢階層別・性別 在科患者数	○
16	1	14	35			疾病（中分類）別・在院期間別・性別 在科患者数	○
16	1	14	36			疾病（中分類）別・転帰別・性別 在科患者数	○
16	1	14	37			疾病（中分類）別・年齢階層別 死亡患者数	○
16	1	14	38			疾病（中分類）別・年齢階層別 剖検患者数	○
16	1	14	39			診療圏・診療科別・性別 在科患者数	○
16	1	14	40			診療圏・年齢階層別・性別 在科患者数	○
16	1	14	41			診療圏・在院期間別・性別 在科患者数	○
16	1	14	42			診療圏・転帰別・性別 在科患者数	○
16	1	14	43			下記の統計帳票（手術統計表）を出力できること。	○
16	1	14	44			診療科別・月別・性別 手術件数	○
16	1	14	45			診療科別・在院期間別・性別 手術件数	○
16	1	14	46			手術分類別（大分類）別・年齢階層別・性別 手術件数	○
16	1	14	47			手術分類別（大分類）別・在院期間別・性別 手術件数	○
16	1	14	48			手術分類別（大分類）別・転帰別・性別 手術件数	○
16	1	14	49			手術分類別（中分類）別・年齢階層別・性別 手術件数	○
16	1	14	50			手術分類別（中分類）別・在院期間別・性別 手術件数	○

## 別紙1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
16	1	14	51			手術分類別（中分類）別・転帰別・性別 手術件数	○
16	1	14	52			手術分類別（個別手術名）・年齢階層別・性別 手術件数	○
16	1	14	53			手術分類別（個別手術名）・在院期間別・性別 手術件数	○
16	1	14	54			手術分類別（個別手術名）・転帰別・性別 手術件数	○
16	1	14	55			下記の統計帳票（死亡統計表）を出力できること。	○
16	1	14	56			診療科別・月別・性別 死亡患者数	○
16	1	14	57			診療科別・年齢階層別・性別 死亡患者数	○
16	1	14	58			診療科別・在院期間別・性別 死亡患者数	○
16	1	14	59			疾病（大分類）別・診療科別・性別 死亡患者数	○
16	1	14	60			疾病（中分類）別・診療科別・性別 死亡患者数	○
16	1	14	61			統計表は、Microsoft社のExcelで加工できる形式でファイル出力できること。	○
16	1	15				その他帳票出力機能	
16	1	15	1			医師別および診療科別の退院サマリ記載率をMicrosoft社のExcel形式でファイル出力できること。	○
16	1	15	2			退院サマリ記載率は退院後評価日数（指定日内の記載率）を最大5つまで指定ができること。	○
16	1	16				タスク管理機能	
16	1	16	1			下記情報を1画面でまとめて把握できる機能を有すること。	○
16	1	16	2			未作成の退院サマリー一覧	○
16	1	16	3			未承認の退院サマリ（病歴）一覧	○
16	1	16	4			前月、当月の退院サマリ記載率	○
16	2					カルテアリバイ管理システム	
16	2	1				システムの起動と利用権	
16	2	1	1			システムは職種により利用できるメニューが制限できること。	○
16	2	2				基本機能	
16	2	2	1			入院、外来診療録、フィルムの整理状況、貸出し管理ができること。	○
16	2	2	2			病歴管理画面から簡単な操作で画面遷移できること。	○
16	2	2	3			医療情報システムに接続し、患者基本情報・入退院情報と連携できること。	○
16	2	2	4			職種により、登録権限を制限できること。	○
16	2	3				受領処理機能	
16	2	3	1			入院オーダと連携して、入院中は「入院中」・退院後は「未受領」と自動でステータスが変更できること。	○
16	2	3	2			受領登録時に、受領日・整理状況・整理日・診療録所在・担当職員・コメントを入力できること。	○
16	2	4				診療録点検（量的点検）機能	
16	2	4	1			整理状況に紐付いて、点検状況が管理できること。	○
16	2	4	2			点検はあらかじめ設定した診療録一覧から不備があった箇所をチェックすることで点検できること。	○
16	2	4	3			点検者、点検日・点検コメント・診療科が管理できること。	○
16	2	5				貸出処理機能	
16	2	5	1			受領状況が「受領済」の診療録のみ貸出処理ができること。	○
16	2	5	2			借用者・借用者診療科を職員マスタより登録ができること。	○
16	2	5	3			帯出者・帯出者診療科を職員マスタより登録ができること。	○
16	2	5	4			貸出目的があらかじめ設定した選択項目より登録できること。	○
16	2	5	5			貸出目的に任意の期間を設定して返却予定日を自動で登録できること。	○
16	2	5	6			貸出時に任意のコメントを入力できること。	○
16	2	5	7			貸出処理時に自動もしくは任意のタイミングで貸出カード（診療録用・診療情報管理室用）が出力できること。	○
16	2	5	8			貸出履歴を管理できること。	○
16	2	6				返却処理機能	
16	2	6	1			返却日を入力することで、返却処理ができること。	○

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
16	2	7				一括処理機能	
16	2	7	1			個別貸出画面とは別に一括処理用の画面が提供できること。	○
16	2	7	2			退院後の一括受領処理ができること。	○
16	2	7	3			一括返納処理の際、受領状況・整理状況・受領日・整理日・担当者・診療録所在を一括で入力できること。	○
16	2	7	4			貸出者・帯出者・貸出日・貸出目的等で検索した結果を元に、一括で貸出・返却処理ができること。	○
16	2	8				統計機能	
16	2	8	1			貸出日付を指定して貸出診療録一覧が出力できること。また一覧のヘッダー部に任意の督促文をテンプレートから入力できること。	○
16	2	8	2			退院日・病棟を指定して未受領診療録一覧が出力できること。また一覧のヘッダー部に任意の督促文をテンプレートから入力できること。	○
16	2	8	3			貸出先・借用者・貸出日・返却予定日・貸出目的を指定して未返却診療録一覧が出力できること。また一覧のヘッダー部に任意の督促文をテンプレートから入力できること。	○
16	2	8	4			退院日・診療科を指定して未整理診療録一覧が出力できること。また一覧のヘッダー部に任意の督促文をテンプレートから入力できること。	○
16	2	8	5			退院日・診療科を指定して未承認サマリー一覧が出力できること。また一覧のヘッダー部に任意の督促文をテンプレートから入力できること。	○
16	2	8	6			退院日・診療科を指定して点検時に不備にチェックした不備診療録一覧が出力できること。また一覧のヘッダー部に任意の督促文をテンプレートから入力できること。	○
16	2	9				情報検索機能	
16	2	9	1			登録画面内のすべての管理項目を検索条件に指定して検索できること。	○
16	2	9	2			検索条件単位で論理式（ANDまたはOR）を指定できること。	○
16	2	9	3			検索条件に（ ）を指定し、論理式の優先順位を設定できること。	○
16	2	9	4			登録画面内の管理項目の範囲で検索結果の出力項目を自由に追加、削除することができ、また並び替えできること。	○
16	2	9	5			検索結果は、Microsoft社のExcelで加工できる形式またはCSV形式でファイル出力できること。	○
16	2	9	6			検索条件、もしくは検索項目は雛型として保存できること。	○
16	2	9	7			検索結果より該当データを選択して貸出状況の参照画面を起動できること。	○